

分科会 1

「ICOM フォーラム『世界の博物館事情とその取組み』」

【会場：東京国立博物館】

趣旨：ICOM 京都大会 2019 を 1 年後に控え、全国博物館大会の開催に合わせ、アクソイ ICOM 会長をお招きし、ICOM の役割についてお話をうかがいます。また、大会のテーマ「文化をつなぐミュージアム」を議論する出発点として、現在のミュージアムの新たな取組みについて、中国、韓国、グアテマラからのゲストと一緒に考えていきます。

スケジュール：

10：00 開会挨拶 銭谷眞美 公益財団法人日本博物館協会会長、

ICOM 日本委員会副委員長、東京国立博物館長

10：10-10：30 「ICOM の役割」



スアイ・アクソイ (Suay Aksoy) ICOM 会長

2016 年より現職。ICOM 諮問委員会委員長 (2013-16)、都市博物館のコレクション・活動国際委員会 (CAMOC) 委員長 (2010-14) を歴任。また、トルコ博物館専門家協会を創立、初代会長 (2011-13)。専門は、博物館マネジメント及び文化遺産。イスタンブールにある国立ミマール・スィナン芸術大学 (Mimar Sinan University of Fine Arts) と国立ボアズィチ大学 (Bogaziçi University) で教鞭をとった。

10：30-10：50 「ICOM 京都大会 2019 の準備状況について」

栗原祐司 ICOM 京都大会 2019 運営委員会運営委員長

京都国立博物館副館長

10：50-11：00 休憩

11：00-12：30 ICOM フォーラム 『世界の博物館事情とその取組み』

「ミュージアムの新潮流について」事例報告と討論：

複雑化した 21 世紀の社会において、ミュージアムはより社会的な役割が期待されてきています。社会的・経済的格差、難民の増大、災害の甚大化に加え、新たなテクノロジーの出現は、こういったミュージアムの期待される役割に大きな影響を与えています。本フォーラムでは世界の新たな潮流や新たな取組みについて、各国の事例を元に議論していきたいと思えます。

モデレーター



島谷弘幸 九州国立博物館長

ICOM 京都大会 2019 組織委員会委員

東京国立博物館学芸部美術課書跡室長、資料課長、展示課長、文化財部長、学芸研究部長、副館長を経て、2015 年より現職。専門は、古筆学及び日本書道史。日米文化交流教育会議 (CULCON) 委員、日本ユネスコ国内委員会委員、文化審議会文化財分科会委員なども務める。

著書に『和様の書』(ぎょうせい)、『文人の書』(毎日新聞社)、『料紙と書』(思文閣出版) などがある。

パネラー



ライシュン・アン (Laishun AN)

ICOM 副会長、ICOM 中国副委員長、事務局長

中国史博士、博物館学修士。北京魯迅博物館の副館長でもある。34年間にわたる博物館界への貢献は、国内に止まらず、アジア太平洋地域、世界に広がっている。地域と世界のミュージアムとの結びつきを強めると同時に、中国のミュージアムの国際化に力を入れている。



インキョン・チャン (Inkyung Chang)

ICOM 執行役員、韓国・鉄の博物館館長

漢陽大学で10年以上博物館学の教鞭をとり、大韓民国歴史博物館が出版する現代韓国研究ジャーナルの編集委員を担当。忠清北道博物館協会会長に就任(2016～2019)。ICOMで20年にわたり活躍し、ASPAC(アジア太平洋地域委員会)委員長(2004～2010)、ICOM執行役員(2013～2019)等を歴任。



サミュエル・フランコ・アルチェ (Samuel Franco Arce)

ICOM-LAC (中南米カリブ地域) 委員長

ICOM DRMC (災害リスク管理) 委員。グアテマラ国内委員会ボードメンバー。サウンド・レコーディング・エンジニア、ビデオ・グラファー。1987年にドキュメンタリー・センター、アーカイブ、ミュージアムであるカーサ・クオジョム(Casa K'ojom)を創設し、それ以降、ディレクターとして、生きたマヤ文化の無形文化遺産の保存と普及に専念している。



井上洋一 東京国立博物館副館長

ICOM 京都大会 2019 組織委員会運営委員

東京国立博物館学芸部考古課先史室研究員に任官後、九州国立博物館学芸部長、東京国立博物館学芸企画部長などを歴任し、2017年より現職。専門は日本考古学。日本のみならずシリア、パキスタンなどで遺跡の発掘調査や保存修復プロジェクトにも参画。海外との国際交流展を含め、さまざまな特別展の企画・運営に携わるなど、世界とつながるミュージアムの発展に尽力している。

12:25 閉会の挨拶 佐々木永平 ICOM 京都大会 2019 組織委員会委員長

京都国立博物館館長